

# 社会保育学科

## 第1回 平成29年7月22日(土)

担当教員	教授 今野 道裕
テーマ	児童文化入門 子どもとつながる遊びの力
概要	<p>子どもは、「すべて」遊びを通して学んでいきます。子どもの周りにあるおもちゃや絵本・紙芝居等様々な児童文化財の紹介と実際に読み聞かせやおもちゃで遊んでみることを通して、子どもにとっての「遊び・児童文化」を考えます。</p> <p>また、簡単な手作りおもちゃを作ります。子どもだけでなく大人にとっても「作って楽しい!」を味わいながら、成長・発達にとって「ものを作ること」の重要性や保育者や大人の役割等について考えます。</p>

## 第2回 平成29年8月19日(土)

担当教員	教授 山野 良一
テーマ	児童相談所の経験から考える社会保育
概要	<p>保育士の仕事は、保育所でのものに限りません。児童虐待を受けたり、親御さんの病気などで一緒に親御さんと生活できない子どもたちのケアを、乳児院、児童養護施設、児童相談所などで行うことも含まれます。また、お父さん、お母さんを支援することも乳児院などでの仕事の重要な点です（これは保育所でも今や一緒です）。</p> <p>私の児童相談所での経験から、そうした困難な状態にある子どもやお父さんやお母さんにはどんなケアが保育士として必要なのかをみなさんと考える中で「社会保育」という言葉の意味に少し触れることができると考えています。</p>

## 第3回 平成29年10月14日(土)

担当教員	助教 濱田 香澄
テーマ	子どもの発達～脳科学から探る～
概要	<p>なぜ授乳中にお母さんはTVではなく、赤ちゃんを見ているほうがいいのでしょうか？なぜ赤ちゃんはいないいないばあ遊びで笑うのでしょうか？子どもの発達と脳の発達は密接に関連しています。脳科学と保育は一見関連のないように感じられますが、脳科学から子どもにとってわかりやすい言葉かけや視線の向け方を知ることができます。本模擬授業では、最新の脳科学研究から子どもの発達を解き明かします。</p>